

# 千葉大学医学部附属病院で 胎児脳室拡大により受診された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年5月2日

画像診断センター

画像診断センターでは、胎児頭部 MRI での頭蓋内出血の撮像方法に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

## 本文書の対象となる方

2023年4月1日～2023年12月31日の間に  
脳室拡大が指摘されて胎児の頭部 MRI を撮像された方

### 1. 研究課題名

「EPI 法と mFFE 法による T2\*WI の胎児頭部 MRI の比較」

### 2. 研究期間

2024年承認日～2025年3月31日

この研究は、観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

### 3. 研究の目的・方法

胎児の脳室拡大には出生後の発達に問題とならないものから、治療介入を要するものまで様々です。この脳室拡大の原因の一つに胎児の頭蓋内出血が原因となることがあり、この場合は出生後に治療を必要とします。

胎児の頭蓋内の画像検査には超音波検査や MRI が用いられていますが、微量の出血の判断は、従来の方法では容易ではありません。そこで、当院の MRI 機器の設定値を変更した新たな撮像方法を用いて、より頭蓋内の出血を容易に判断できるように画像化できないかと考え、研究を始めました。

この撮像方法が、臨床的に有用性が高いと示すことができれば、頭蓋内出血で脳室拡大

大が生じた胎児が、出生後に速やかに治療を受けられる可能性が高まるのではないかと考えています。追加となる撮像時間も5分程度なので母体への負担も極めて少なく、他施設での胎児のMRIに容易に展開可能です。

#### 4. 研究に用いる情報の種類

この研究では、2023年4月1日から2023年12月31日に撮像された胎児の頭部MRI画像を用います。新たにご負担をおかけすることはありません。

他に本研究で利用する診療情報は、年齢、MRI撮像時の妊娠週数、既往・出産歴です。

#### 5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：画像診断センター 特任助教 羽柴 淳

#### 6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院画像診断センターにおいて厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。2030年03月31日まで千葉大学附属病院画像診断センターの研究室にて情報を保存します。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

#### 7. 情報の研究（他の研究を含む）への利用について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

この研究のために提供していただく情報は、将来の他の研究には使用いたしません。

情報を用いられることを拒否したい場合または疑問や質問がある場合は、「8. 研究についての相談窓口」に記載されている問い合わせ先にご連絡ください。

## 8. 研究についての相談窓口

本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

画像診断センター 特任助教 羽柴 淳

043（222）7171